

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.0</b>	
<b>Q1 室内環境</b>									
<b>1 音環境</b>									
1.1 室内騒音レベル									
1.2 遮音									
1 開口部遮音性能									
2 界壁遮音性能									
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0					
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0					
1.3 吸音						3.0			
<b>2 温熱環境</b>									
2.1 室温制御									
1 室温									
2 外皮性能									
3 ゾーン別制御性									
2.2 湿度制御									
2.3 空調方式									
<b>3 光・視環境</b>									
3.1 屋光利用									
1 屋光率									
2 方位別開口									
3 屋光利用設備									
3.2 グレア対策									
1 屋光制御									
3.3 照度									
3.4 照明制御									
<b>4 空気質環境</b>									
4.1 発生源対策									
1 化学汚染物質									
4.2 換気									
1 換気量									
2 自然換気性能									
3 取り入れ外気への配慮									
4.3 運用管理									
1 CO <sub>2</sub> の監視									
2 喫煙の制御									
<b>Q2 サービス性能</b>					0.43			<b>2.7</b>	
<b>1 機能性</b>									
1.1 機能性・使いやすさ									
1 広さ・収納性									
2 高度情報通信設備対応									
3 バリアフリー計画									
1.2 心理性・快適性									
1 広さ感・景観									
2 リフレッシュスペース									
3 内装計画									
1.3 維持管理									
1 維持管理に配慮した設計									
2 維持管理用機能の確保									
<b>2 耐用性・信頼性</b>				2.6	0.50			<b>2.6</b>	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80				
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20				
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30				
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.40				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.40				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.20				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔									
5 空調・給排水配管の更新必要間隔									
6 主要設備機器の更新必要間隔									
2.4 信頼性				1.0	0.20				
1 空調・換気設備									
2 給排水・衛生設備									
3 電気設備				1.0	1.00				
4 機械・配管支持方法									
5 通信・情報設備									

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>2.8</b>	0.50	-	-	<b>2.8</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>2.4</b>	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	-	2.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	-	3.0	0.40	-	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性	-	-	-	-	-	
2	給排水管の更新性	-	-	-	-	-	
3	電気配線の更新性	-	3.0	0.33	-	-	
4	通信配線の更新性	-	-	-	-	-	
5	設備機器の更新性	-	-	-	-	-	
6	バックアップスペースの確保	-	3.0	0.67	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.57	-	-	<b>1.5</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>1.0</b>	0.30	-	-	<b>1.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>2.0</b>	0.40	-	-	<b>2.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>1.5</b>	0.30	-	-	<b>1.5</b>
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	-	<b>2.0</b>	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	-	<b>1.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>2.6</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	-	-	-	-
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>			-	-	-	-	-
<b>2 自然エネルギー利用</b>			-	-	-	-	-
<b>3 設備システムの高効率化</b>			-	-	-	-	-
<b>4 効率的運用</b>			-	-	-	-	-
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	-
4.1	モニタリング	-	-	-	-	-	-
4.2	運用管理体制	-	-	-	-	-	-
集合住宅の評価			-	-	-	-	-
4.1	モニタリング	-	-	-	-	-	-
4.2	運用管理体制	-	-	-	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.50	-	-	<b>2.7</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
<b>1.1 節水</b>			-	-	-	-	-
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			<b>3.0</b>	1.00	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>2.5</b>	0.60	-	-	<b>2.5</b>
<b>2.1 材料使用量の削減</b>			3.0	0.11	-	-	
<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>			3.0	0.22	-	-	
<b>2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用</b>			3.0	0.22	-	-	
<b>2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>			1.0	0.22	-	-	
<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>			-	-	-	-	
<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>			3.0	0.22	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>			<b>3.0</b>	1.00	-	-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			-	-	-	-	
1	消火剤	-	-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	-	-	-	-	-	
3	冷媒	-	-	-	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.50	-	-	<b>2.6</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>			-	-	-	-	-
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>2.1</b>	0.50	-	-	<b>2.1</b>
<b>2.1 大気汚染防止</b>			-	-	-	-	
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>			<b>2.0</b>	0.67	-	-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			<b>2.5</b>	0.33	-	-	
1	雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	-	1.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.1</b>	0.50	-	-	<b>3.1</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	騒音	-	3.0	1.00	-	-	
2	振動	-	-	-	-	-	
3	悪臭	-	-	-	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	風害の抑制	-	3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制	-	1.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制	-	3.0	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>3.7</b>	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	屋外広告照明無し	4.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
<b>Q2 サービス性能</b>															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>															
1 生物資源の保全と創出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	2.0	-	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0	-	-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>LR1 エネルギー</b>															
2 自然エネルギー利用	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>															
2.2 温熱環境悪化の改善	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	2.0	-	-	対象外	1.0	-	1.0	対象外	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0	-	1.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標	
<b>Q1 室内環境</b>	
2.1.3 外皮性能	窓システムSC - 窓の日射熱取得率(η) - U値(W/m2K) 窓システム - 屋根 - 外壁 - 床 - 住戸部分 窓システムU値 - 外皮UA値 - η AC - η AH -
3.1.1 昼光率	昼光率 -
4.2.2 自然換気性能	自然換気有効開口面積率 -
<b>Q2 サービス性能</b>	
1.1.1 広さ・収納性	執務スペース - /人 病床 - /床 シングル - ツイン -
1.1.2 高度情報通信設備対応	コンセント容量 - VA/m <sup>2</sup>
1.2.1 広さ感・景観	天井高 - m
1.2.2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペース - レストスペース -
2.2.1 躯体材料の耐用年数	想定耐用年数 - 年
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	想定必要間隔 - 年
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	想定必要間隔 - 年
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔	想定必要間隔 - 年
3.1.1 階高のゆとり	階高 - m
3.1.2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率 -
3.2 荷重のゆとり	床荷重 - N/m <sup>2</sup>
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>	
1 生物資源の保全と創出	外構緑化指数 - 建物緑化指数 -
3.2 敷地内温熱環境の向上	空地率 0% 水平投影面積率 - 地表面対策面積率 - 舗装面積率 -
<b>LR1 エネルギー</b>	
1 建物外皮の熱負荷抑制	BPI/BPI <sub>m</sub> - 断熱等性能等級 対象外 相当
2 自然エネルギー利用	自然エネルギー直接利用量 0 MJ/年m <sup>2</sup> 採光を満たす教室数 - 採光を満たす住戸数 - 通風を満たす教室数 - 通風を満たす住戸数 -
3 設備システムの高効率化	BPI/BPI <sub>m</sub> 非住宅 - 住宅 - 太陽光 - 太陽熱等 - 蓄電池 -
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	
1.2.1 雨水利用システム導入の有無	雨水利用率 -
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	特定調達品目 - エコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 -
2.5 持続可能な森林から産出された木材	使用比率 -
3.2.1 消火剤	オゾン層破壊係数(ODP) - 地球温暖化係数(GWP) -
3.2.2 発泡剤(断熱材等)	オゾン層破壊係数(ODP) - 地球温暖化係数(GWP) -
3.2.3 冷媒	オゾン層破壊係数(ODP) - 地球温暖化係数(GWP) -
<b>LR3 敷地外環境</b>	
2.2 温熱環境悪化の改善	見付面積比 - 隣棟間隔指標R <sub>w</sub> - 地表面対策面積率 - 屋根面対策面積率 - 外壁面対策面積率 - 見付面積S <sub>b</sub> - 卓越風向と直交する最大敷地幅W <sub>s</sub> - m 基準高さH <sub>b</sub> - m 緑地 m <sup>2</sup> 水面 m <sup>2</sup> 保水性対策面 m <sup>2</sup> 高反射対策面 m <sup>2</sup> 再帰性反射対策面 m <sup>2</sup>